



ほのかな灯りに照らされた安らぎの温泉街

寸又峡で「あかりアート展」開催

現在、寸又峡では「日本一清楚な温泉保養地づくり」を目指し、地域をあげてイメージアップに取り組んでいます。

今年度初めての試みとして、10月14日から31日にかけて、和紙を使った「あかりアート作品」を道路脇に並べ、温泉街をやさしく照らす演出「あかりアート展 in 寸又峡」が開催されました。

初日の14日には、オープニング式典（点灯式）が行われ、望月孝之実行委員会会長らの手によってあかりが灯されました。

期間中は浴衣姿で散策する姿も多く見られ、寸又峡の夜をやさしく包み込むような「あかり」の中、来場者は一様に心とんだ表情を見せていました。

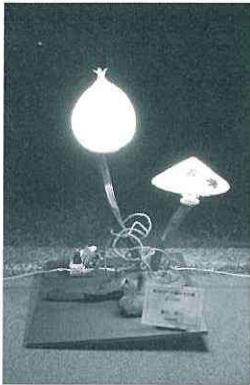
町まちづくり観光協会では、この「あかりアート」を新たな目玉として定着させ、例年10月下旬に行われるもみじ祭りや、12月の温泉感謝祭と合わせて、寸又峡のイメージアップを図っていきたい考えです。



写真を提供いただきありがとうございました

ほのかなあかりが幻想的な雰囲気を出しました

道路脇に並べられた「作品」



5年に1度の大祭 青部熊野神社の神楽 華やかに

青部熊野神社の大祭 多くの来場者でにぎわいました

10月14日、青部の熊野神社において5年に1度の大祭が行われ、多くの地区内外の住民でにぎわいました。

当日は天狗を先頭に道行きが始まり、熊野神社に向かいます。その周りを、段々と人が取り囲み始め、一行は熊野神社に到着。鳥居を潜って本格的に祭りの夜が始まります。

舞台の上では、安産祈願・子どもの無事の成長を願う「姫の舞」など数々の舞が舞われました。時に優雅に、時に滑稽に繰り広げられる舞に、地区のみなさんから楽しげな声が上がっていました。女性の会バザーや花火も大盛況の一夜でした。



天狗を先頭に道行き 段々と人が集まり始めます



古式ゆかしい「舞」

おいしいお茶は、いかが？ 10/13 東京都で物産展

全国の過疎に悩む農産漁村などで構成する「日本ふるさと会議（当町は今年5月に加盟）」が運営しているアンテナショップ「ふるさと劇場品川座」を会場に、川根本町をテーマとした物産展が初めて行われました。

当町から、川根茶、茶ようかん、茶染スカーフなどの特産品の出品や、観光パンフレットの配布を行い、川根本町の魅力を存分にPRしました。

13日には杉山町長も駆けつけ、茶娘と一緒に川根茶の試飲や特産品プレゼントなどの催しを行いました。

杉山町長は「川根茶を知っている人が、思ったより多く心強い。今後も積極的に町のPRに努めたい」と話していました。



川根茶を熱心にPR (ふるさと劇場品川座)